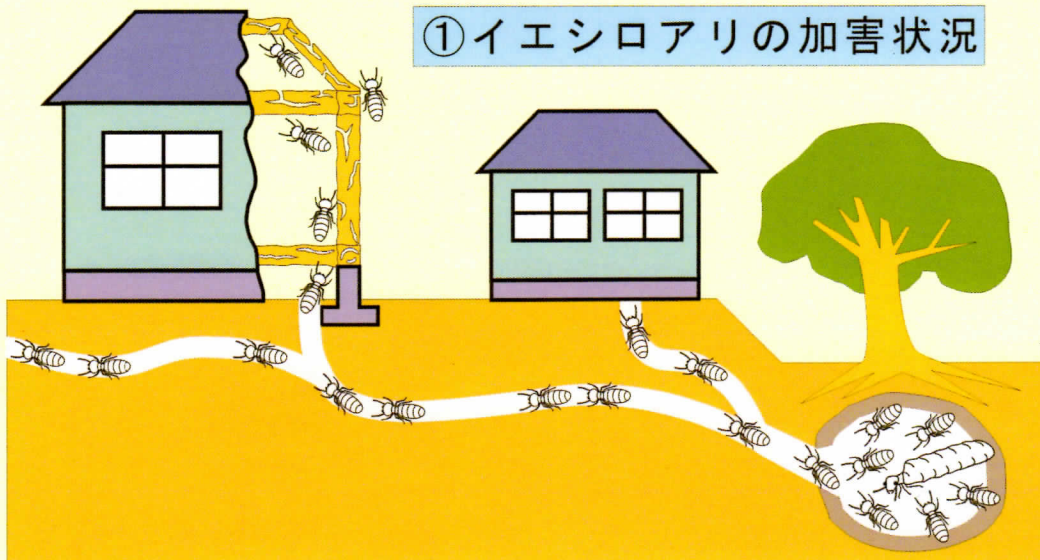


イエシロアリは巣の駆除から

① イエシロアリの加害状況

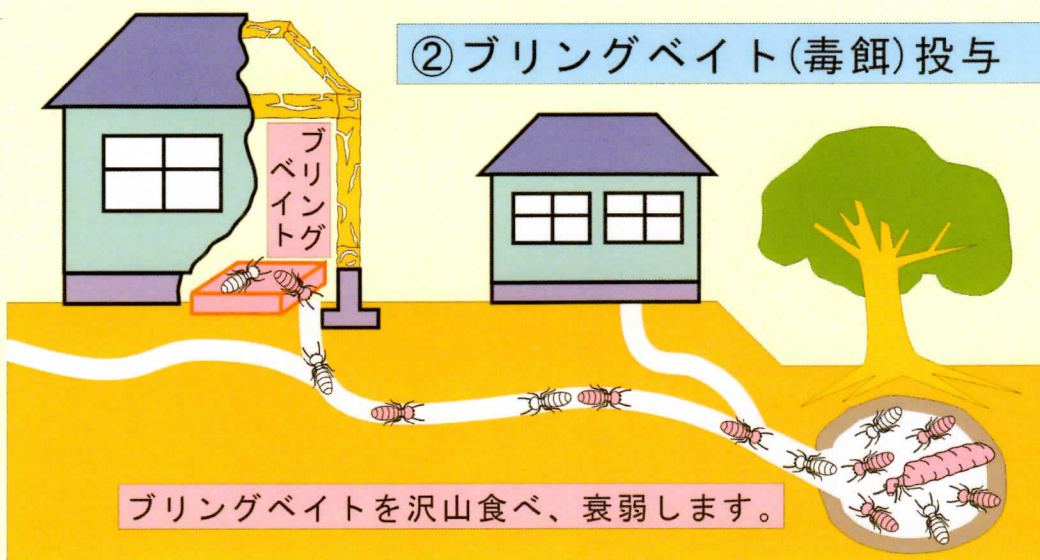


イエシロアリの生態

- ・加害力が大きく、家屋に大きな被害を与えます。
- ・巣には女王が生息し、卵を産み続けています。
- ・職蟻20万～100万匹が活動しています。
- ・巣から50m離れた場所も加害します。



② ブリングベイト(毒餌)投与

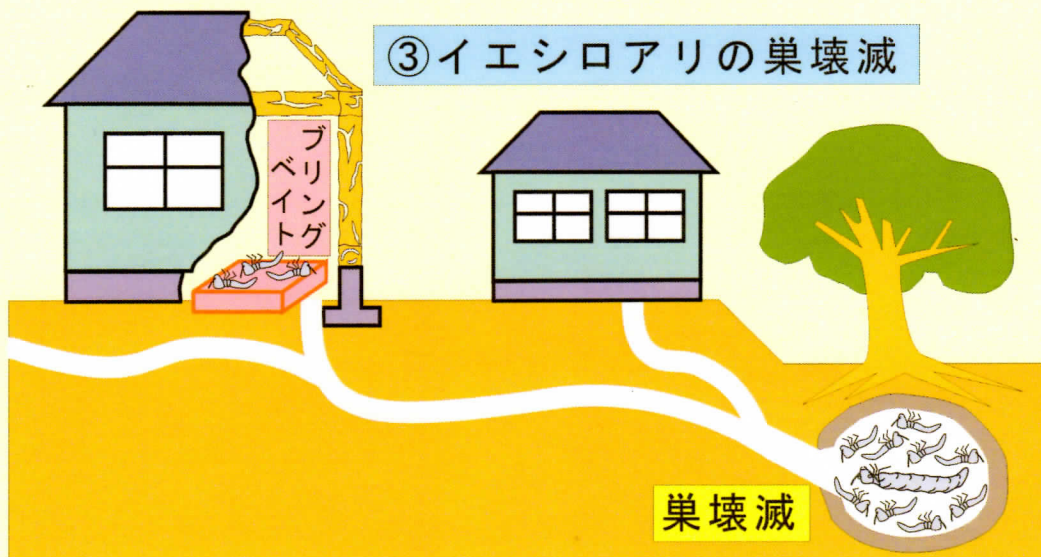


イエシロアリの駆除

- ・巣の駆除が一番重要です。
- ・ブリングベイトによる巣の駆除をお勧めします。
- ・原則一つのボックスで一つの巣を駆除します。
- ・短い期間(約2ヶ月)で巣を駆除します。
- ・薬剤散布は侵入防止が目的で、離れた巣の駆除はできません。



③ イエシロアリの巣壊滅



予防施工

- ・ブリングで巣の駆除を行った後、必要に応じ薬剤による予防施工を行います。

白 蟻
被害調査

ブリングシステムの流れ

ボックス設置
ベイト剤投与



点検
補充



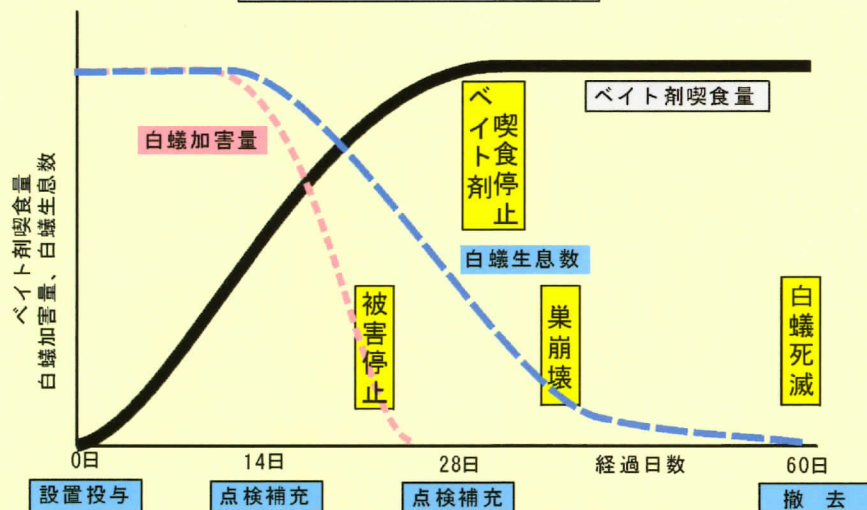
点検
補充



死滅確認
ボックス撤去

薬剤散布
(維持管理)

標準経過（春、秋）



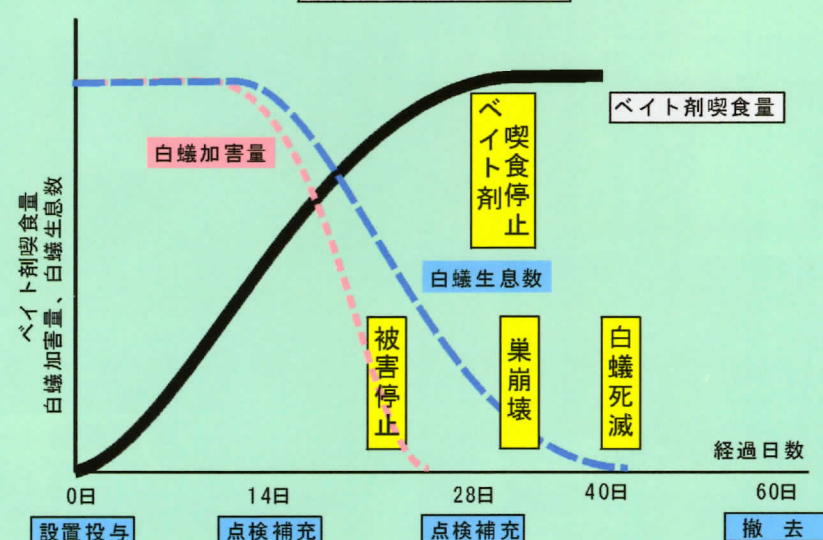
①設置投与



②床下設置状況



最速経過（夏）



③点検補充



④ブリングで死んだ白蟻の死

ブリングシステム施工中のお願い

ブリングシステムは、ブリングベイトを大量に食べさせることで、巣を壊滅します。被害部に薬剤を散布すると、白蟻がベイト剤を食べなくなります。工事が終わるまでは、スプレー等の薬剤使用は避けて下さい。ブリングボックスの蓋は開けないで下さい。蓋を開けるとボックスに風が流れ、ボックスから白蟻がいなくなります。ベイト剤も食べなくなります。

巣が壊滅した時、一部の生き残った白蟻が巣から追い出され、部屋などを徘徊する時があります。白蟻を見つけた時は、掃除機等で吸い取って下さい。追い出された白蟻もブリングの影響で弱っています。1週間後には死滅し、家屋に被害を与える事はありません。

ブリングボックス設置事例

ブリングボックスは床下、室内、天井、家屋外周、樹木など、殆どの白蟻被害箇所を設置できます。木造家屋だけでなく、鉄筋、鉄骨構造の住宅、店舗、工場等にも設置できます。設置事例を下に示す。白蟻が活動する場所にブリングボックス1～2個を設置し、ブリングベイトを投与し、白蟻を駆除します。

①床下設置事例



写真 01 床下蟻道



写真 02 盛土断熱板設置



写真 03 蟻道切断



写真 04 ブリングボックス設置



写真 05 ブリングベイト投与



写真 06 床下設置状況

②畳設置事例



写真 07 畳切断ボックス設置ベイト投与

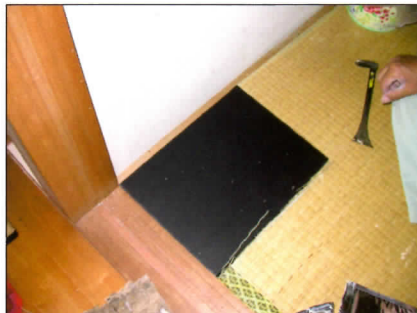


写真 08 断熱蓋設置

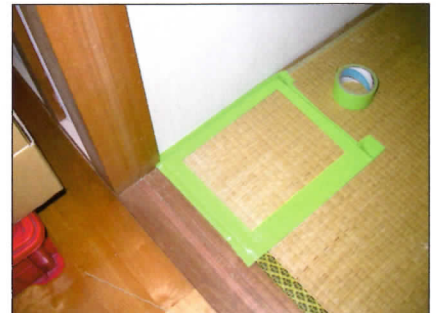


写真 09 畳表被覆、畳設置状況

③公民館フローリング設置事例



写真 10 フローリング被害部に設置
公民館床フローリングに白蟻被害
床板被害部に、ブリングボックス設置



写真 11 天井梁被害部に設置
1階天井2階梁に白蟻被害
梁被害部にボックス設置

④木造家屋天井設置事例

⑤鉄筋建物コーキング設置事例



写真 12 コーキング被害部に設置
鉄筋建物のコーキング部に蟻土、白蟻被害
コーキング被害部にブリングボックス設置